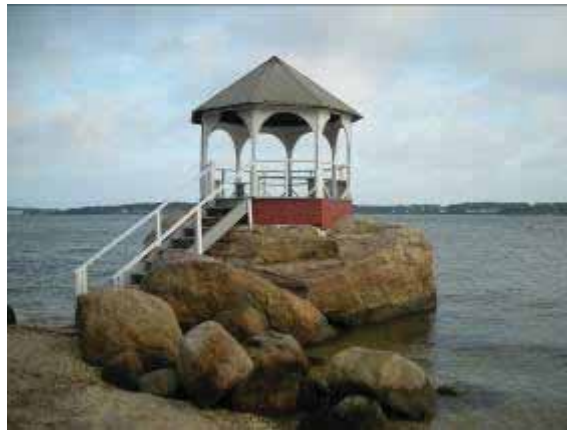


UMC-Japanese Ministry  
11 Highgate Terrace  
Bergenfield, NJ 07621 USA

## 新サーキットライダー 2009年9、10月号



キャンプ・クイニペットのガジボ (通称：サマーハウス)

**U**nited **M**ethodist **C**hurch - **J**apanese **A**merican **M**inistry

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd

326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07656

Pastor Jun Yoshimatsu 牧師：吉松 純

Church: (201) 385-4100, Parsonage: (201) 338-2744 Homepage: [www.umc-japan.org](http://www.umc-japan.org)

ともしび

## 灯を守り更に燃やす

あなたの御言葉は、わたしの道の光、わたしの歩みを照らす灯。わたしは誓ったことを果たします。(詩篇 119:105-106)。

もう2ヶ月も経ってしまいましたが、今年の夏もシェルター島のキャンプ・クイニペットに行ってきました。1977年に日米合同教会主催で始められたキャンプも1998年で一度閉じられ、2006年に日本人特別牧会(SMJ)、ユニオン教会、私達のUMC日本語ミニストリー共催、日米合同教会後援で再開し、今年のキャンプとなりました。

以前は3週間行きっぱなしのキャンプでしたが、再開後は昨年まで1週間キャンプをしていました。が、今回のキャンプのディレクターであるSMJコーディネーター兼ユニオン教会牧師の相良昌彦師が「2009年は是非2週間やりましょう。」と皆に働きかけ2週間キャンプが実現しました。私は2週間の内の10日ほどアート・ディレクターとして参加しましたが、久しぶりの長期キャンプで色々なことを考えさせられ、またディレクターやリーダー、子供達から学びました。



(私達の泊まったキャンピングから見えるキャンプ場の一シーン)

このキャンプは、参加した子供達の7~8割が一度も教会に行った事がなく、その事実を踏まえた上で行っている「信仰の種を蒔く」伝道キャンプです。ですからどれほどキャンプ中楽

しくても、子供達がその後教会に直ちに連なったり、親子共々洗礼を受けてクリスチャンになる、というようなものではありません。それを承知の上で、少しでも教会に来て欲しい、境界に導かれてキリストを信じる信仰を持って欲しい、という願いの下にやっています。伝道全般にも同じことが言えるのではないかと、思います。以下、キャンプを語りながら教会、伝道を考えてみたいと思います。

このキャンプはクリスチャンのディレクター、リーダー及び裏方の仕事をして下さっているキャンプ委員が立ち上げ、聖書の学び、アート、スポーツなどのプログラムを計画し実行しています。そこにキャンパーが参加し、皆で一つのキャンプを造り上げます。ディレクターやリーダーだけではキャンプは出来ません。キャンパーが一緒になって初めて一つのキャンプが出来上がる。それを良く象徴しているのがキャンプ・ファイヤーです。以下、キャンプ・ファイヤーを考察しながら、教会形成、伝道を考えてみたいと思います。

まずキャンプ・ファイヤーは、ファイヤーの基礎=薪全体を支える木枠を太い薪で作ります。それから薪を組み上げていきます。全体を組んだ後、組んだ薪が良く燃えるように、最下層の木枠の隙間に紙を入れ、更に紙が燃え上がった時に直ぐに火が点くように小枝を紙の上に、そしてその上に細く割った薪というように組まれた薪と薪の間に入れていきます。そして点火。火は紙から小枝、細く裂いた薪、そして上に組んだ薪へと燃え広がり、周りを照らしだすキャンプ・ファイヤーになります。

骨組みだけでは火が点きませんし、普通に薪を組んだだけでも、火はなかなか点きません。紙、小枝、細く割った薪などの仕込み、工夫が全部が揃った時にキャンプ・ファイヤーは時に熱く夜空まで、時に温かく心に染みとおるよう燃え上がります。

皆さんはもうお分かりだと思いますが、キャンプ・ファイヤーを支える太い木枠はキャンプ・ディレクターやリーダー達。教会で言えば牧師や信仰歴の長い信徒、長老、役員。そして次々に組まれる大小様々な薪はキャンパーであ

り、教会で言えば信徒一人一人です。紙や小枝、細く裂いた薪など火が燃えやすくする為の工夫は、聖書のお話し、讃美、アート、スポーツ、水泳など。毎日の讃美や聖書の話、楽しいプログラムの中で、ディレクターやリーダーが証したイエスの愛はキャンパーの心をイエスに向かって徐々に開いていきます。教会で言うなら礼拝、交わり、聖書の学び、集会などでしょうか。皆が一つの教会として連なっていく上で欠かせないものです。



(キャンプ・フィナーレ：キャンプファイヤー)

キャンプ・ファイヤーは時間の経過と共に形を変え、時に組んだ薪が燃え尽き崩れてします。時折、崩れたキャンプ・ファイヤーの中心から飛び出してしまう薪がありますが、火の輪から出てしまった薪はどんどん火力が弱まり、完全に燃え尽きる前に冷えて不完全燃焼で消えてしまいます。でも、その灰になりきらないで黒ずんだ薪もキャンプ・ファイヤーに戻すとまた火が点き、最後まで他の木々と一緒に燃えます。キャンプ・ファイヤーの火勢が弱まってきたら、新しい薪を継ぎ足せば火はまた勢い付きいつまでも燃え続けます。

同じように信徒が教会から離れてしまうと、その人は「信仰があるから教会に行かなくても大丈夫です。」と言っている、やがてはその信仰は失われてしまいます。また同じ顔ぶれだけで礼拝を守り、新しい人々に伝道して教会に招き入れないと、教会も教勢を失い、やがては無くなってしまいます。つまり「信徒はいかなる時も礼拝に連なること」そして「新しい人々にどんどん伝道していくこと」によってのみ教会

は信仰の灯を燃やし続ける事が出来ます。そうやって2000年の長きに渡り教会はイエス・キリストの光を放ち続けてきました。その事を感謝の内に覚え、私達も同じように灯を燃やし続けていかなければなりません。

この夏、これらのことを改めて学び、私は自分の召命も再確認しました。皆様もどうぞ信仰の灯火を大切にお過ごし下さい。

吉松 純

#### 礼拝予定：

##### 10月

- 4日：礼拝、聖餐式、Jr. 教会
- 11日：礼拝、Jr. 教会
- 18日：礼拝、Jr. 教会
- 25日：礼拝、Jr. 教会、高校生聖書の学び（礼拝後の交わりと学びは牧師館でします。）

##### 11月

- 1日：NY 日本語教会、ユニオン日本語教会と合同半日修養会。グッドシェパード教会での日本語礼拝はありません。
- 8日：礼拝、午後2時より、牧師館にて。午後4時より、グッドシェパード教会60周年記念、聖歌隊フェスティバルと夕食会。

#### 報告：

##### 行事、プログラム案内：

- \* 10月よりキャンプに参加した Jr. リーダーを中心に高校生の聖書の学びを SMJ ディレクター相良昌彦牧師と協力して始めます。毎月第4もしくは第5日曜日の礼拝後にします。高校生、中学生上級は誰でも参加できます。お友達をお誘いください。
- \* 11月1日、昼より NY 日本語協会にて、NY 日本語教会、ユニオン日本語教会、グッドシェパード UMC 日本語ミニストリーが合同で半日修養会を持ちます。詳細は別ページをご覧ください。
- \* 11月8日、礼拝後、午後4時よりグッドシェパード教会60周年記念行事、聖歌隊フェスティバルと夕食会があります。日本語ミニストリーも招待されています。皆様、是非お出かけください。詳細は別ページをご覧ください。

お祈りと献金の御協力をお願いします。  
チェックのあて先は UMC-JA とし、どの  
プログラムに献金したいか明記してお  
送り下さい。

- \* 台風、地震で被害を受けた、台湾、フィリピン、サモア諸島、インドネシアの為の災害特別献金をお願いします。
- \* サマーキャンプの為
- \* 2010年東部日本語教会、伝道所合同ファミリーキャンプの為
- \* ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。
- \* 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会 (JOC S) に送ります。JOC S 海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- \* ケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さ

んの為に特別献金をしています。

- \* パターソンの St. Philip 伝道と社会福祉団体 CUMAC / ECHO の為に。どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

教会の住所 :

**UMC-Japanese Ministry**

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス (201) 385-4100

ホームページ : <http://umc-japan.org>

牧師館 : (201) 338-2744

吉松牧師 [junyoshim@optonline.net](mailto:junyoshim@optonline.net)

教会学校担当 : 吉松 泉姉

[izumi.yoshimatsu@gmail.com](mailto:izumi.yoshimatsu@gmail.com)

♪♪♪ **Choir Festival**  
**The Church of the Good Shepherd**  
**Celebrates the 60<sup>th</sup> Anniversary**

326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07621

Pastor: Rev. Jun Yoshimatsu

Music Director: Mrs. Dorothy Henry

Please join this joyous event on

**Sunday, November 8 at 4:00 P. M., followed by Dinner**

Reservation: (201) 385-4100

or E-mail: [junyoshim@aol.com](mailto:junyoshim@aol.com)



Let's make joyful noises!

Sing Hallelujah to The Lord!

Praise The Lord!



Church Parking is on New Bridge Road, across the church building.  
For more information, please contact us by phone or E-mail.

# A Half Day Retreat

半日修養会

## キリストが与える希望

11月1日（日曜日）

聖書が教えるキリストが私達に与えてくれる希望とは何かを学び、それを味わい、それぞれの生活に活かすことができるよう、今回の修養会は開かれます。クリスチャンではない方も、分かりやすく学ぶことができます。お誘いあわせの上、ご参加ください。

### 予定

午後 12 時 15 分

受け付け開始

昼食（日系パン屋のサンドウィッチセット）

セッション1 ヘブライ人への手紙 10 章 「福音」

セッション2 ローマ人への手紙 8 章 「地上での喜び」

音楽賛美

セッション3 ルカの福音書 14 章 「永遠の命」

小グループに分かれてディスカッション

閉会式

5 時

夕食（中華のテイクアウトを中心に用意します）

**お申し込み、お問い合わせは、お気軽に電話か email で。昼食には予約が必要なので、10月25日までにお申し込みください。それ以降にお申し込みの場合、昼食の準備がない可能性がありますので、ご了承ください。**

電話 (914)961-8407 Email [jsuzuki@nyjc.org](mailto:jsuzuki@nyjc.org) NY 日本語教会の鈴木牧師まで  
参加費 全参加 13ドル（昼食抜きだと \$4.50 引き、夕食抜きだと \$6 引き）

講師：吉松純牧師（グッドシェパード教会）  
相良昌彦牧師（ユニオン日本語教会）  
鈴木讓牧師（ニューヨーク日本語教会）